

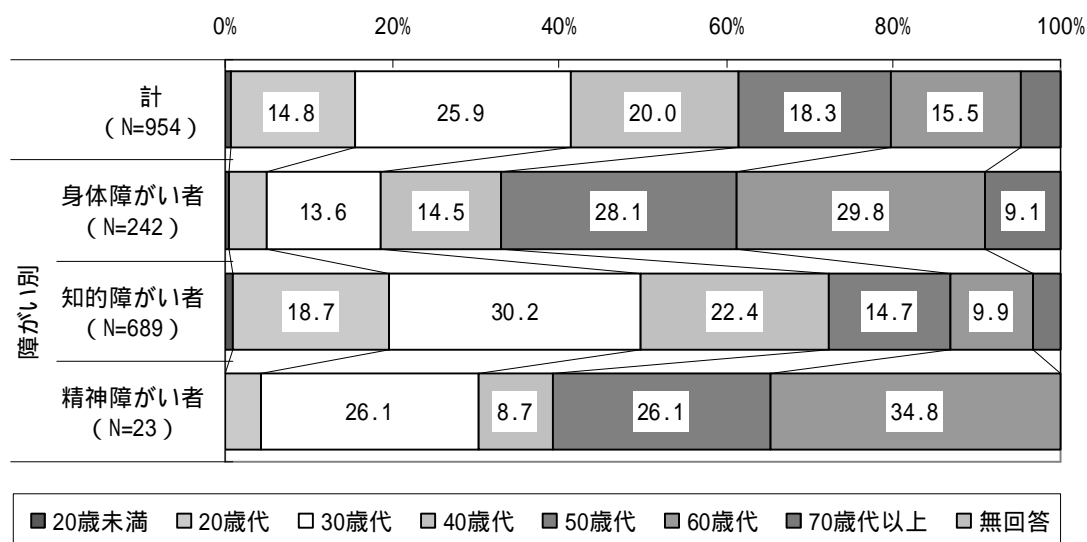
- 3 施設入所者調査

1. 年齢

平成 22 年 11 月 1 日現在の満年齢を記入してください。

年齢は、「身体障がい者」、「精神障がい者」では「60 歳代」がそれぞれ 29.8%、34.8%と最も高く、「知的障がい者」では「30 歳代」が 30.2%となっている。

図表 3-1 年齢

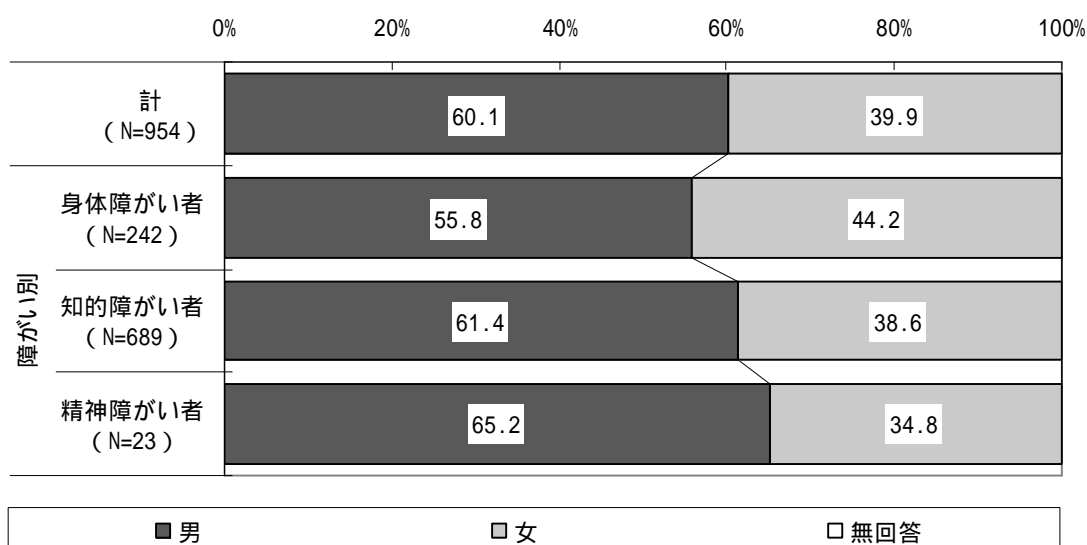


2. 性別

性別を次の区分により記入してください。

性別は、どの障がいにおいても、「男性」が最も高く、「身体障がい者」では 55.8%、「知的障がい者」では 61.4%、「精神障がい者」では 65.2%となっている。

図表 3-2 性別

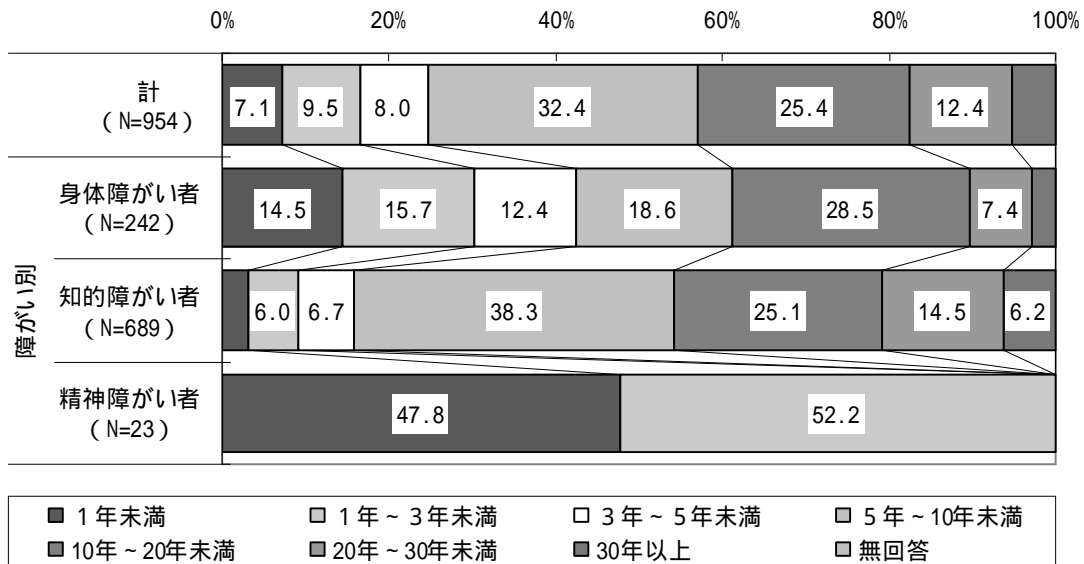


3. 入所期間

入所期間を次の区分により記入してください。

入所期間は、「身体障がい者」では「10年～20年未満」が28.5%と最も高く、「知的障がい者」では「5年～10年未満」が38.3%、「精神障がい者」では「1年～3年未満」が52.2%となっている。

図表 3-3 入所期間

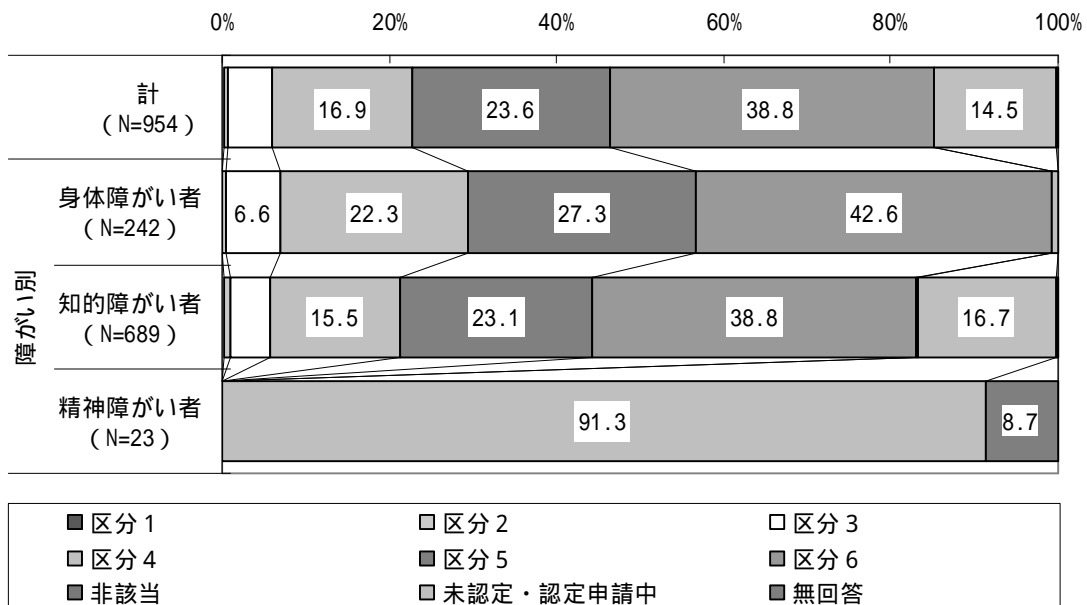


4. 障害者自立支援法による障害程度区分

障害者自立支援法による障害程度区分の認定状況を記入してください。

障害者自立支援法による障害程度区分は、「身体障がい者」、「知的障がい者」では「区分6」がそれぞれ42.6%、38.8%と最も高く、「精神障がい者」では「未認定・認定申請中」が91.3%となっている。

図表 3-4 障害者自立支援法による障害程度区分



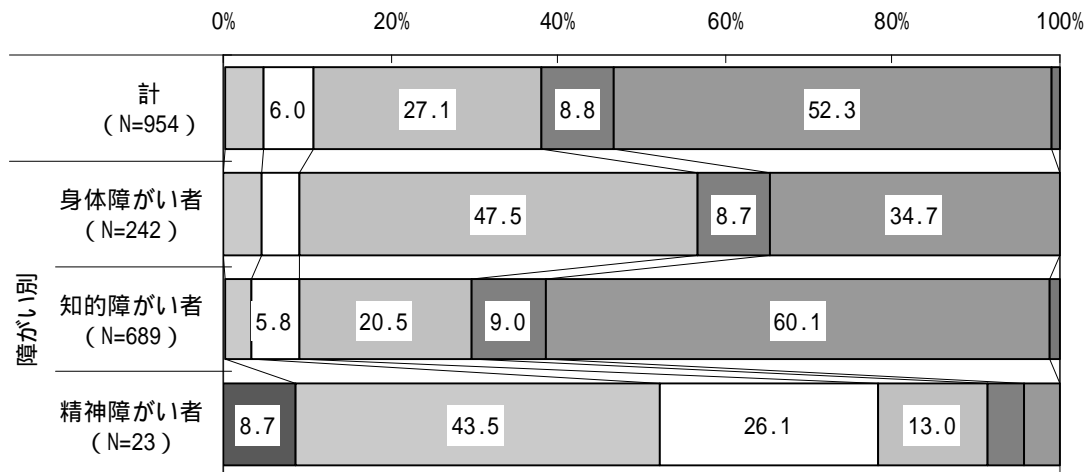
5. 地域生活への移行について

(1) 本人の意向

地域生活への移行について次の区分により記入してください。

地域生活への移行(本人の意向)は、「身体障がい者」では「地域生活をしたいと思っていない(言葉や態度ではっきり示している)」が47.5%と最も高く、「知的障がい者」では「不明」が60.1%、「精神障がい者」では「地域生活をしたいと思っている(言葉や態度ではっきり示している)」が43.5%となっている。

図表 35 地域生活への移行(本人の意向)



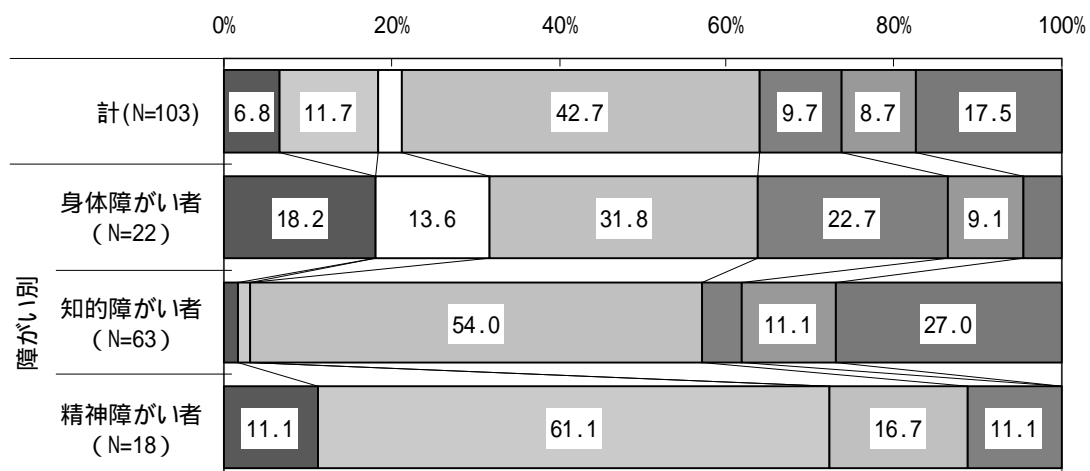
- 地域生活への移行が決まっている
- 地域生活をしたいと思っている(言葉や態度ではっきり示している)
- 地域生活に関心がある・興味を示している
- 地域生活をしたいと思っていない(言葉や態度ではっきり示している)
- 時によって意向が異なる
- 不明
- 無回答

(2) 希望する居住形態

希望する居住形態について次の区分により記入してください。

希望する居住形態は、「身体障がい者」、「知的障がい者」では「福祉ホーム、グループホーム等」がそれぞれ31.8%、54.0%と最も高く、「精神障がい者」では「民間の賃貸住宅」が61.1%となっている。

図表 36 希望する居住形態



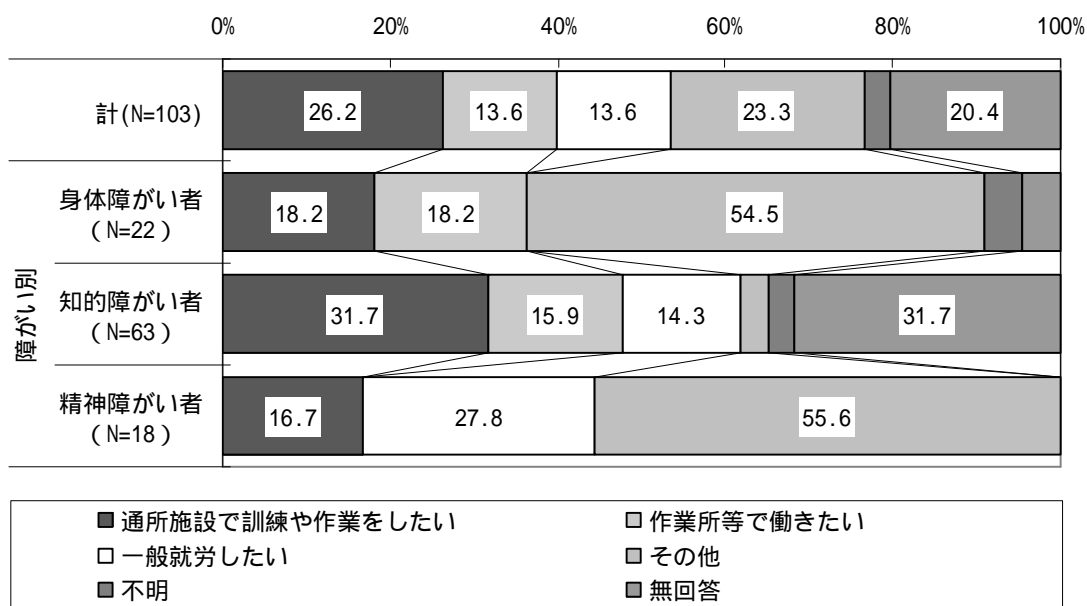
- 持ち家
- 民間の賃貸住宅
- 公営住宅、公団住宅
- 福祉ホーム、グループホーム等
- その他
- 不明
- 無回答

(3) 希望する日中活動

希望する日中活動について次の区分により記入してください。

希望する日中活動は、「身体障がい者」、「精神障がい者」では「その他」がそれぞれ 54.5%、55.6%と最も高く、「知的障がい者」では「通所施設で訓練や作業をしたい」が 31.7%となっている。

図表 3-7 希望する日中活動



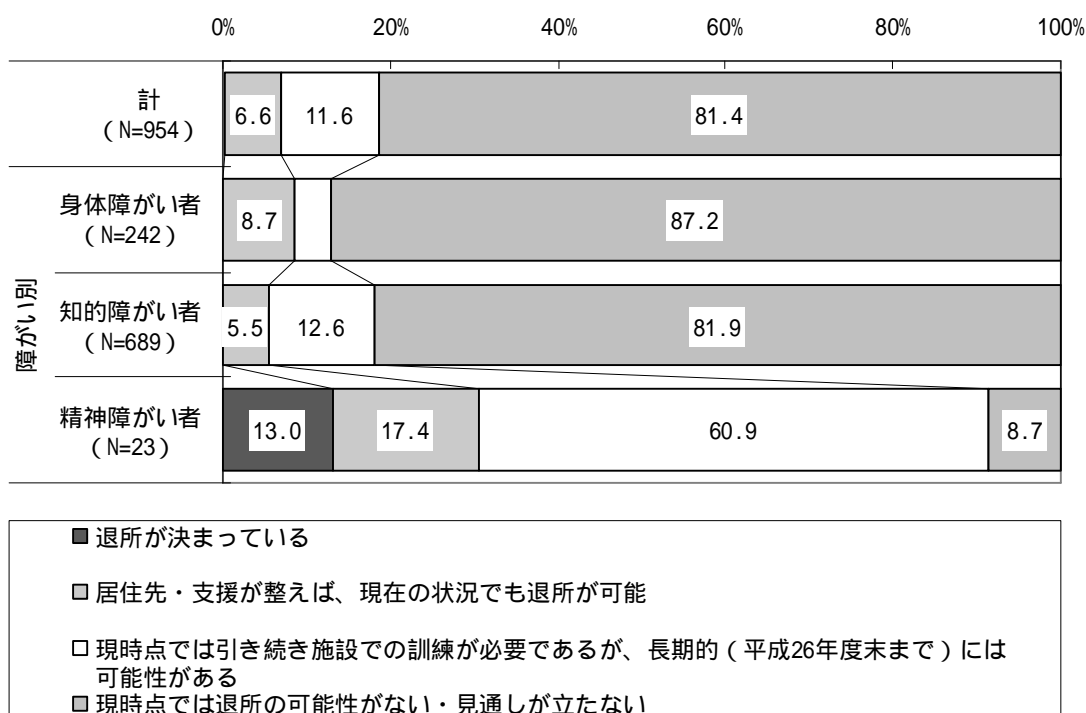
6. 退所の可能性について

(1) 退所の可能性

退所の可能性について次の区分により記入してください。

退所の可能性は、「身体障がい者」、「知的障がい者」では「現時点では退所の可能性がない・見通しが立たない」がそれぞれ 87.2%、81.9%と最も高く、「精神障がい者」では「現時点では引き続き施設での訓練が必要であるが、長期的（平成26年度末まで）には可能性がある」が 60.9%となっている。

図表 3-8 退所の可能性

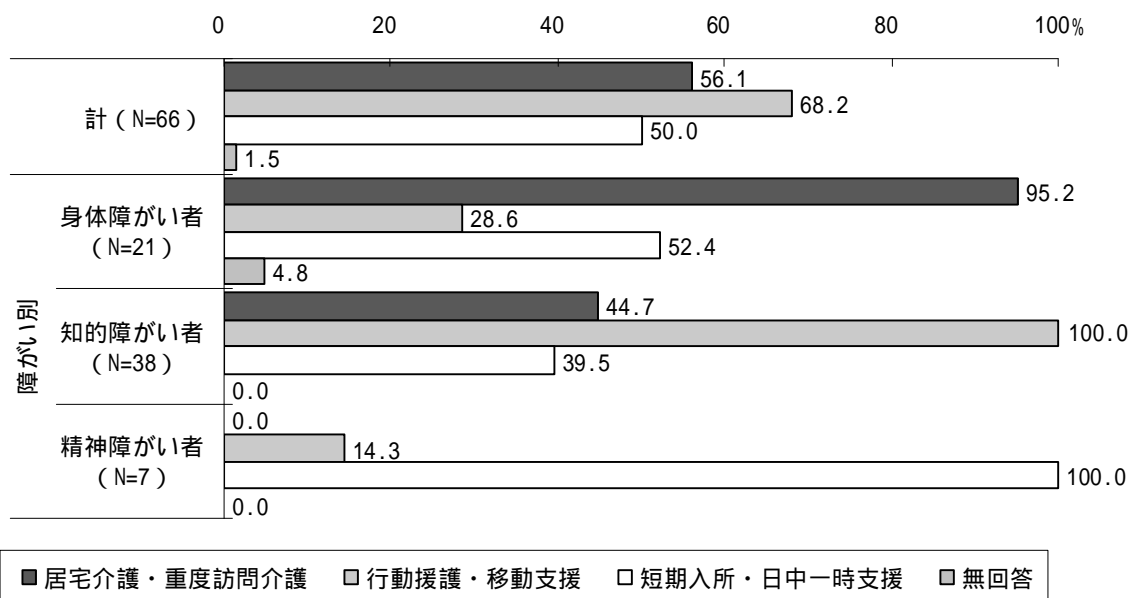


(2) 退所後に必要な訪問系サービス

退所後に必要と思われる訪問系サービスについて次の区分により記入してください。(複数回答可)

退所後に必要な訪問系サービスは、「身体障がい者」では「居宅介護・重度訪問介護」が95.2%と最も高く、「知的障がい者」では「行動援護・移動支援」が100.0%、「精神障がい者」では「短期入所・日中一時支援」が100.0%となっている。

図表 3-9 退所後に必要な訪問系サービス(複数回答)

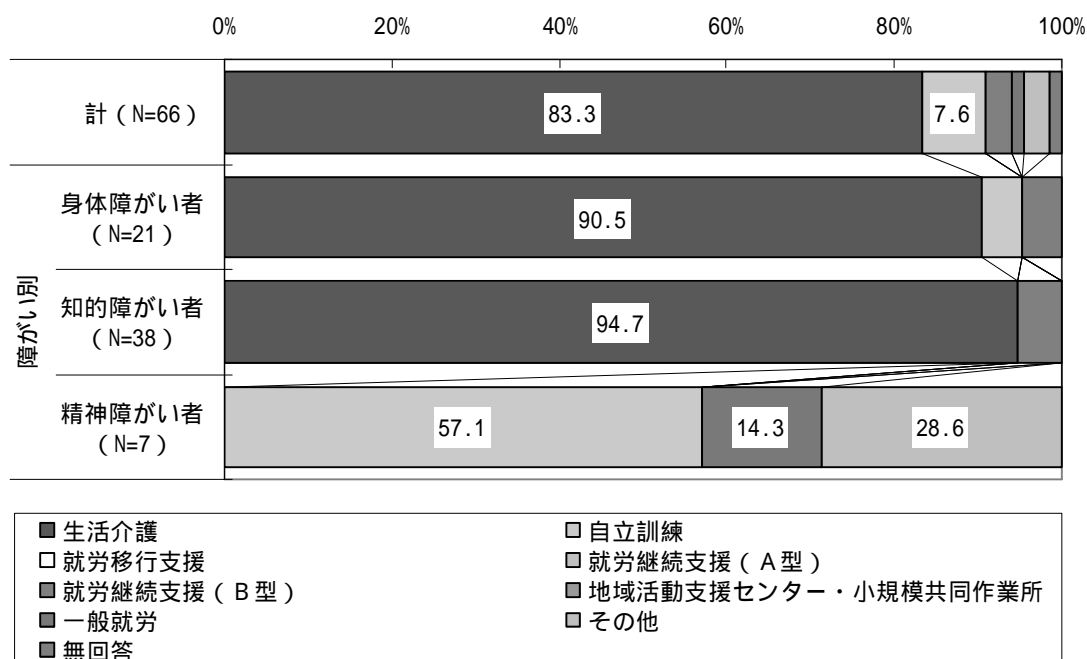


(3) 退所後に必要な日中活動

退所後にふさわしいと思われる日中活動について次の区分により記入してください。

退所後に必要な日中活動は、「身体障がい者」、「知的障がい者」では「生活介護」がそれぞれ90.5%、94.7%と最も高く、「精神障がい者」では「自立訓練」が57.1%となっている。

図表 3-10 退所後に必要な日中活動

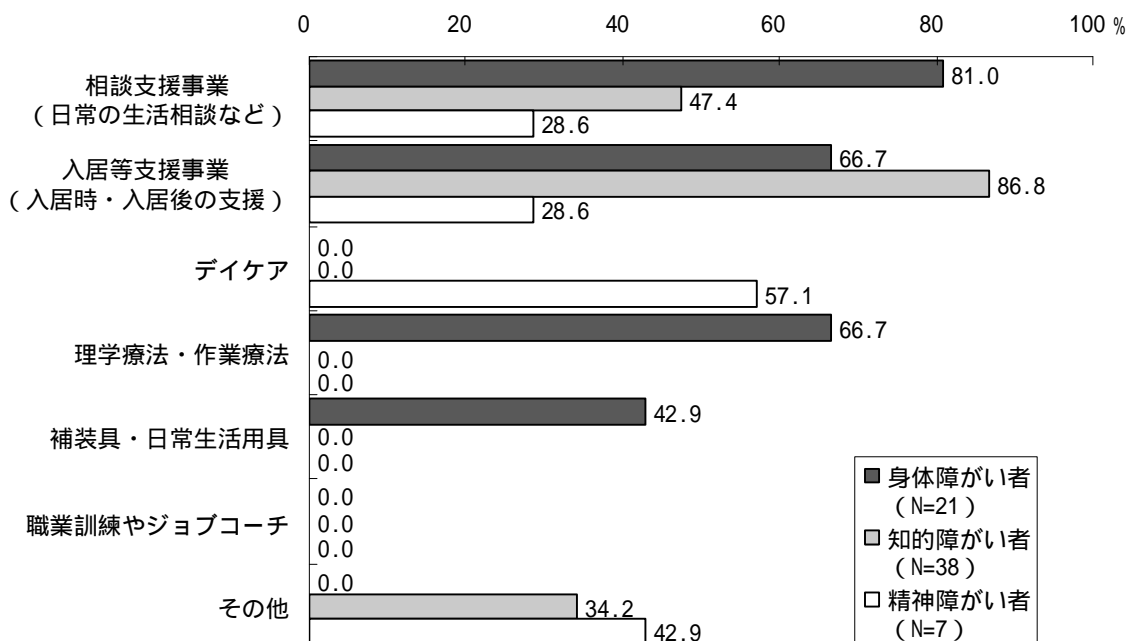


(4) 退所後に必要なその他のサービス

退所後に必要となるその他のサービスについて次の区分により記入してください。(複数回答可)

退所後に必要なその他のサービスは、「身体障がい者」では「相談支援事業(日常生活相談など)」が81.0%と最も高く、「知的障がい者」では「入居等支援事業(入居時・入居後の支援)」が86.8%、「精神障がい者」では「デイケア」が57.1%となっている。

図表 3-11 退所後に必要なその他のサービス(複数回答)



(5) 退所に向けての問題点(不安な点)【本人の状態像】

退所に向けての問題点(不安な点)について次の区分で記入してください。(複数回答可)

退所に向けての問題点(不安な点)【本人の状態像】は、「身体障がい者」、「知的障がい者」では「介護や見守り等の支援が常時必要である」がそれぞれ57.9%、72.4%と最も高く、「精神障がい者」では「環境変化への不安が強い」が39.1%となっている。

図表 3-12 退所に向けての問題点(不安な点)【本人の状態像】(複数回答)

調査の種類	1位		2位		3位		特に問題はない
	項目	割合	項目	割合	項目	割合	
身体障がい者 (N=242)	介護や見守り等の支援が常時必要である	57.9	家事(調理、洗濯等)や金銭管理ができない	40.9	医療的な面で注意が必要である	27.3	0.0
知的障がい者 (N=689)	介護や見守り等の支援が常時必要である	72.4	家事(調理、洗濯等)や金銭管理ができない	37.2	退所したいかどうか、本人の意思が確認できない	31.1	0.0
精神障がい者 (N=23)	環境変化への不安が強い	39.1	家事(調理、洗濯等)や金銭管理ができない	34.8	介護や見守り等の支援が常時必要である	30.4	4.3

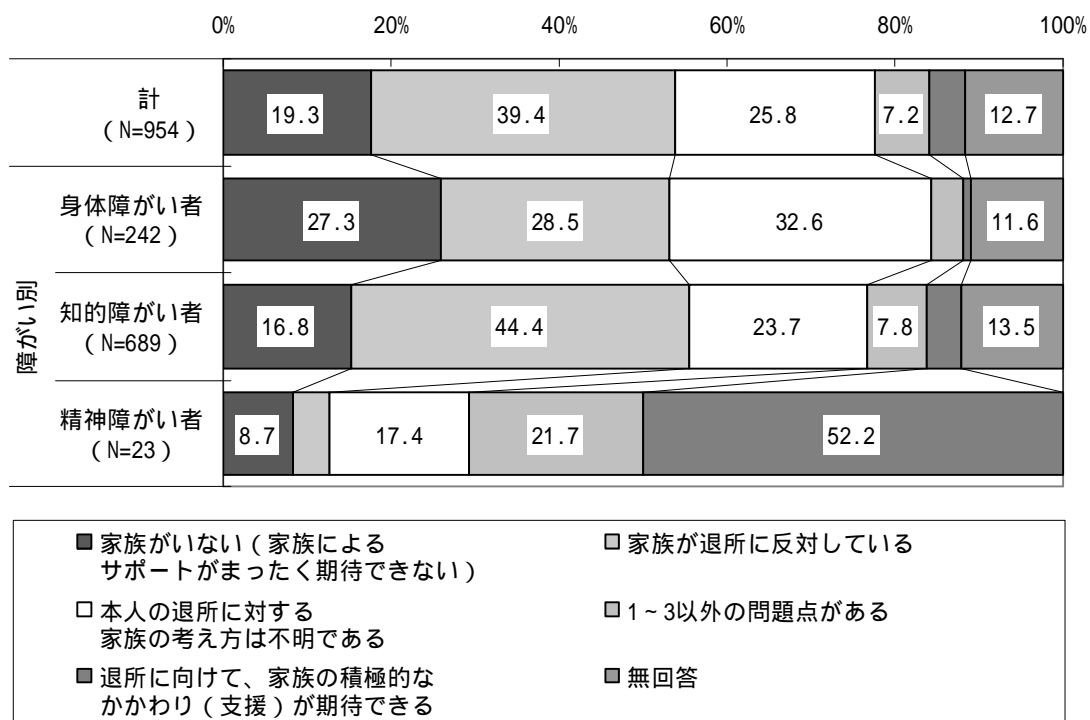
単位：%

(6) 退所に向けての問題点(不安な点)【家族の状況】

退所に向けての問題点(不安な点)について次の区分で記入してください。(複数回答可)

退所に向けての問題点(不安な点)【家族の状況】は、「身体障がい者」では「本人の退所に対する家族の考え方は不明である」が32.6%と最も高く、「知的障がい者」では「家族が退所に反対している」が44.4%、「精神障がい者」では「退所に向けて、家族の積極的なかわり(支援)が期待できる」が52.2%となっている。

図表 3-13 退所に向けての問題点(不安な点)【家族の状況】(複数回答)



(7) 退所に向けての問題点(不安な点)【地域の状況】

退所に向けての問題点(不安な点)について次の区分で記入してください。(複数回答可)

退所に向けての問題点(不安な点)【地域の状況】は、「身体障がい者」では「夜間や緊急時の支援を十分に受けることができないという不安がある」が39.3%と最も高く、「知的障がい者」では「住まいの確保が困難」が42.2%、「精神障がい者」では「服薬管理などを含めた適切な医療ケアを受けられるかどうか不安がある」が56.5%となっている。

図表 3-14 退所に向けての問題点(不安な点)【地域の状況】(複数回答)

調査の種類	1位		2位		3位		特に問題はない
	項目	割合	項目	割合	項目	割合	
身体障がい者 (N=242)	夜間や緊急時の支援を十分に受けることができないという不安がある	39.3	住まいの確保が困難	36.4	金銭管理や契約などの面で不安がある	26.4	0.0
知的障がい者 (N=689)	住まいの確保が困難	42.2	夜間や緊急時の支援を十分に受けることができないという不安がある	40.2	1~11以外の問題点がある	37.0	0.0
精神障がい者 (N=23)	服薬管理などを含めた適切な医療ケアを受けられるかどうか不安がある	56.5	金銭管理や契約などの面で不安がある	52.2	夜間や緊急時の支援を十分に受けることができないという不安がある	34.8	4.3

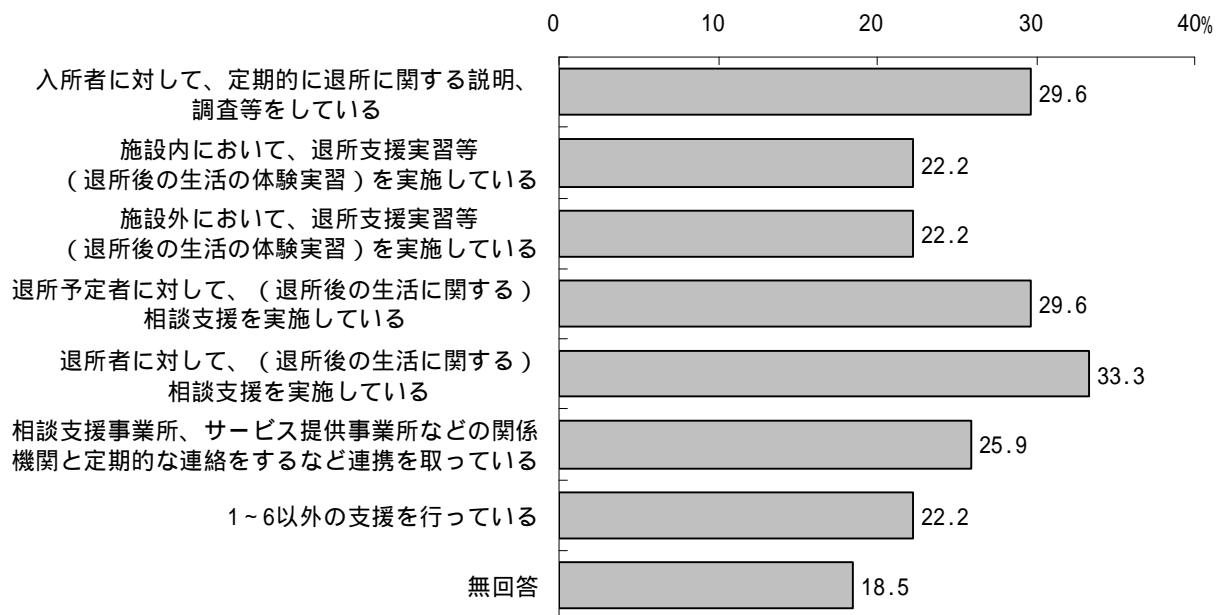
7. 施設の実施など

(1) 退所に向けての支援

入所者の退所に向けて行っている支援について次の区分で記入してください。(複数回答可)

退所に向けての支援は、「退所者に対して、(退所後の生活に関する)相談支援を実施している」が33.3%と最も高く、次いで「入所者に対して、定期的に退所に関する説明、調査等をしている」、「退所予定者に対して、(退所後の生活に関する)相談支援を実施している」が29.6%、「相談支援事業所、サービス提供事業所などの関係機関と定期的な連絡をするなど連携を取っている」が25.9%となっている。

図表 3-15 退所に向けての支援(複数回答、N=27)

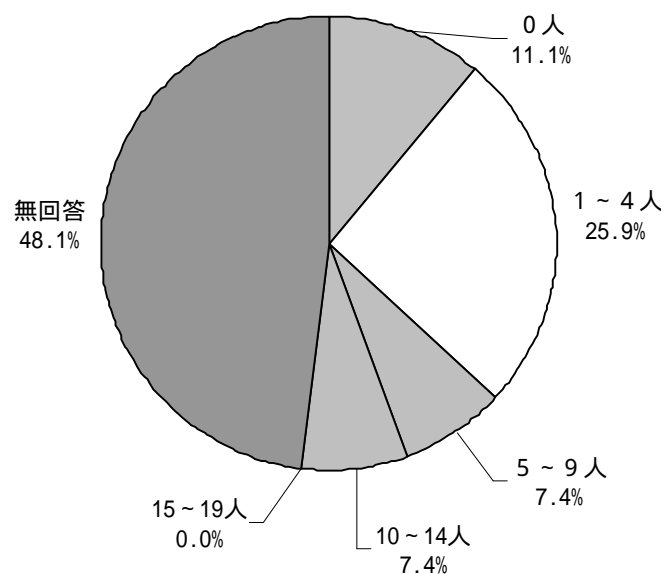


(2) 退所目標数

今後、毎年1年間の退所者の目標数を記入してください。

退所目標数は、「1~4人」が25.9%と最も高く、次いで「0人」が11.1%、「5~9人」、「10~14人」が7.4%となっている。

図表 3-16 退所目標数(N=27)



(3) 新体系移行予定時期

新体系への移行を予定している時期を、次の区分で記入してください。

新体系移行予定時期は、「平成23年4月～9月」が56.3%と最も高く、「平成23年10月～平成24年3月」が43.8%となっている。

図表 3-17 新体系移行予定時期 (N=16)

